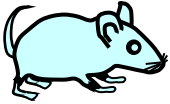
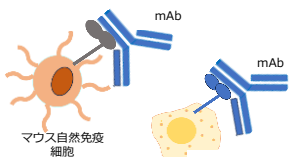
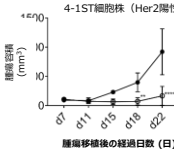

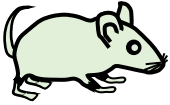
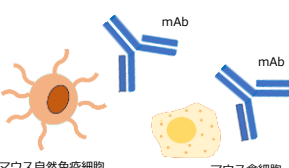
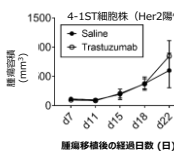


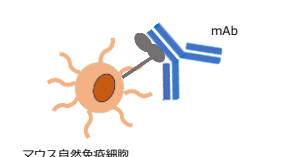
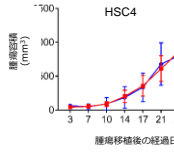


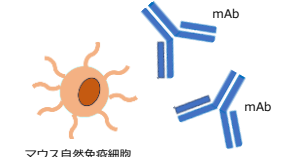
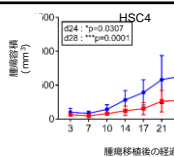

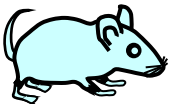
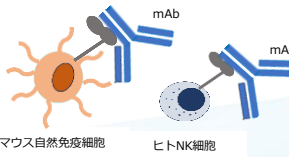
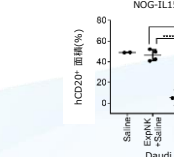


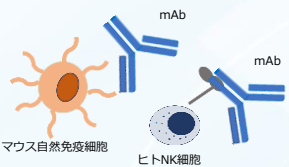
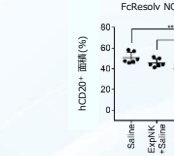



抗体ベース医薬品の研究に有用

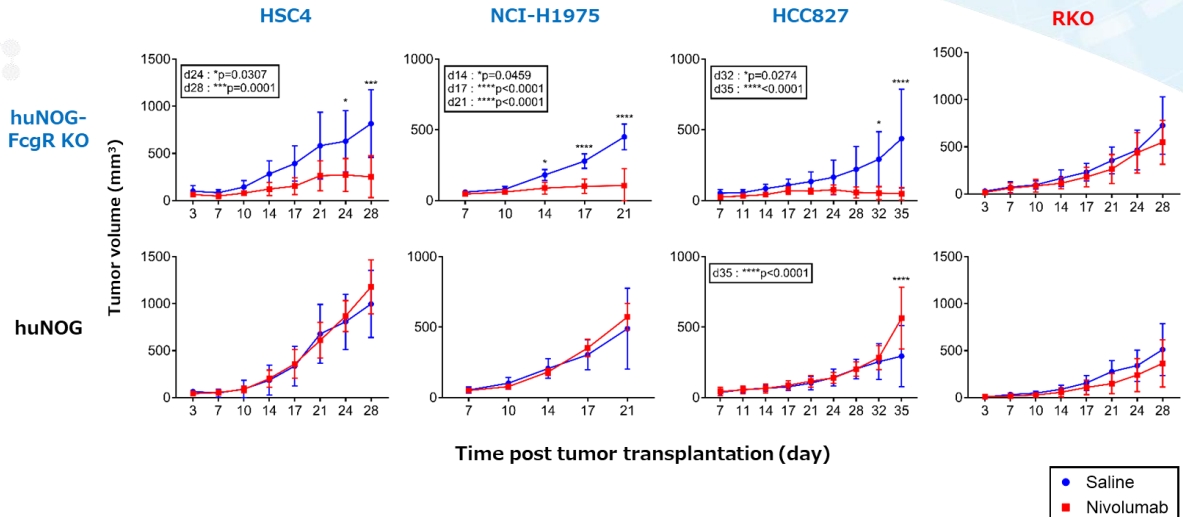
FcResolv™ NOG マウス

マウスFcγRをノックアウトした重度免疫不全マウス
マウス自然免疫細胞による偽陽性、偽陰性の結果を減弱化します

マウスの自然免疫細胞によって惹起されるADCCやADCPの偽陽性や偽陰性を減弱します

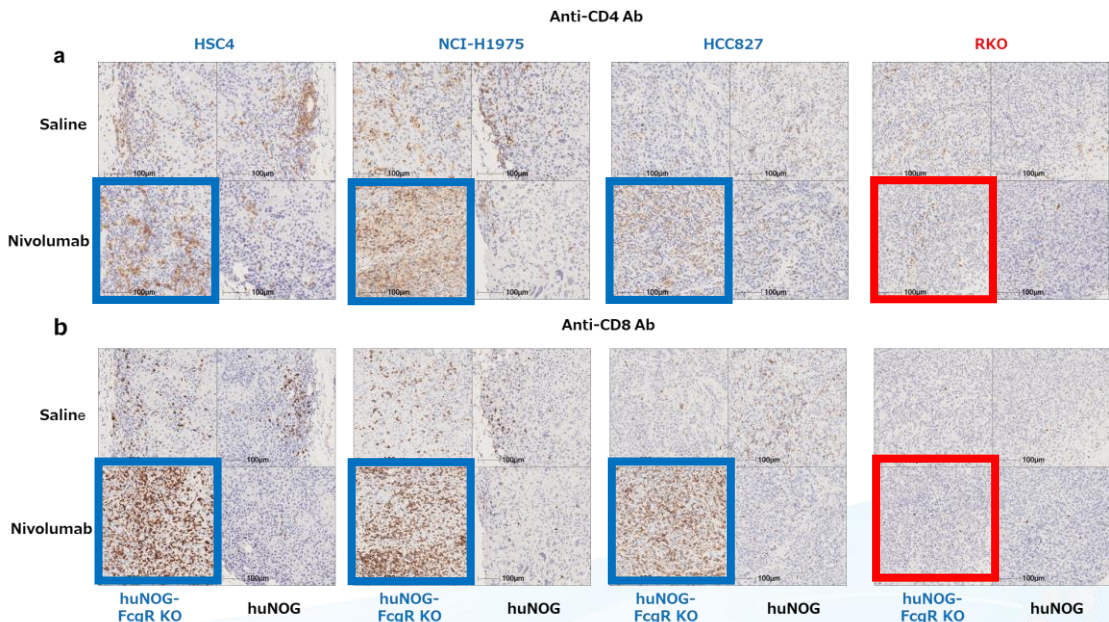
<p>CIEA NOG マウス</p>  <p>マウスFcγR活性正常</p>	 <p>マウス自然免疫細胞 マウス食細胞</p>	 <p>4-1ST細胞株 (Her2陽性胃がん細胞株)</p> <p>腫瘍容積 (mm³)</p> <p>腫瘍移植後の経過日数 (日)</p> <p>トラスツマブによる抗腫瘍効果 Katano et al. Scientific reports</p>	 <p>マウス免疫細胞上のマウスFcγRを介した抗体依存メカニズムによる偽陽性の腫瘍退縮</p>
<p>FcResolv NOG マウス</p>  <p>FcγR活性ノックアウト</p>	 <p>マウス自然免疫細胞 マウス食細胞</p>	 <p>4-1ST細胞株 (Her2陽性胃がん細胞株)</p> <p>腫瘍容積 (mm³)</p> <p>腫瘍移植後の経過日数 (日)</p> <p>トラスツマブによる抗腫瘍効果 Katano et al. Scientific reports</p>	 <p>FcResolv NOGマウスを使用することで、マウスFcγRを介した偽陽性を回避できる</p>
<p>マウスFcγRと治療薬のFcドメイン間の相互作用によって生じる偽陰性を軽減します</p>			
<p>CIEA NOG マウス</p>  <p>マウスFcγR活性正常</p>	 <p>マウス自然免疫細胞</p>	 <p>HSC4</p> <p>腫瘍容積 (mm³)</p> <p>腫瘍移植後の経過日数 (日)</p> <p>ニボルマブによる抗腫瘍効果 Katano et al. Scientific reports</p>	 <p>マウスFcγRの干渉による偽陰性の有効性結果</p>
<p>FcResolv NOG マウス</p>  <p>FcγR活性ノックアウト</p>	 <p>マウス自然免疫細胞</p>	 <p>HSC4</p> <p>腫瘍容積 (mm³)</p> <p>腫瘍移植後の経過日数 (日)</p> <p>ニボルマブによる抗腫瘍効果 Katano et al. Scientific reports</p>	 <p>FcResolv NOG マウスを使用することで、紛らわしい偽陰性が発生しない</p>
<p>ヒトNK細胞介在ADCCを特異的に検出します</p>			
<p>NOG-IL15 マウス</p>  <p>マウスFcγR活性正常</p>	 <p>マウス自然免疫細胞 ヒトNK細胞</p>	 <p>NOG-IL15</p> <p>NCD20⁺ 細胞 (%)</p> <p>Saline, ExpNK⁺Saline, ExpNK⁺Trs, ExpNK⁺Trs</p> <p>Daudi 細胞移植マウスにおけるNK細胞+リツキシマブの抗腫瘍効果 (ADCC) Katano et al. Frontiers in Immunology</p>	 <p>観察された有効性がヒト細胞を介した薬効か、それともマウス細胞を介した薬効かを判断できない</p>
<p>FcResolv NOG-IL15 マウス</p>  <p>FcγR活性ノックアウト</p>	 <p>マウス自然免疫細胞 ヒトNK細胞</p>	 <p>FcResolv NOG-IL15</p> <p>NCD20⁺ 細胞 (%)</p> <p>Saline, ExpNK⁺Saline, ExpNK⁺Trs, ExpNK⁺Trs</p> <p>Daudi 細胞移植マウスにおけるNK細胞+リツキシマブの抗腫瘍効果 (ADCC) Katano et al. Frontiers in Immunology</p>	 <p>FcResolv NOG-IL15マウスにおけるヒトNK細胞媒介ADCC活性を特異的に検出可能</p>

免疫チェックポイント阻害抗体の 抗腫瘍効果研究に最適 FcγRノックアウトNOGマウス



ニボルマブによる腫瘍増殖抑制：

HSC4、HCC827、およびNCI-H1975腫瘍の増殖は、huNOG-FcγR KO マウスでニボルマブにより強く抑制されるか拒絶されたが、従来型のhuNOGマウスではいずれも抑制されなかった。



免疫組織化学 (IHC) による病理学的分析：

- ニボルマブで治療したhuNOG-FcγR KO マウスに移植したHSC4、NCI-H1975、およびHCC827腫瘍はヒトCD4陽性およびCD8陽性T細胞浸潤の増強を示したが、RKOでは増強しなかった。
- 従来型のhuNOGマウスでは、ニボルマブ投与後に少数のヒトT細胞の浸潤のみ確認された。

お問い合わせ

インビボサイエンス株式会社

TEL：044-201-8518

FAX：044-201-8519

WEB：<https://www.invivoscience.com/index.html>

e-mail：sales@invivoscience.com